

6月16日

析——青森県の事例から」

開 会

〈準備委員長報告〉

中村 圭介（東京大学社会科学研究所教授）

自由論題セッション

○A グループ

〈座 長〉

山川 隆一（慶應義塾大学法科大学院教授）

〈報告者〉

- (1) 戸田 淳仁（リクルート・ワークス研究所研究員）「有期労働契約の雇止め制限法理に関する実証分析」
- (2) 大木 栄一（職業能力開発総合大学校准教授）「認定職業訓練（共同職業訓練）が提供するサービスの規模・構造と課題——再編・強化の方向性を探る」
- (3) 早川智津子（岩手大学国際交流センター准教授）「入管政策の動向と労働市場——ポイント制の検討を中心に」

○B グループ

〈座 長〉

野田 知彦（大阪府立大学経済学部教授）

〈報告者〉

- (1) 古市 好文（法政大学大学院政策創造研究科博士後期課程）「キャリア形成支援をめぐる私学固有の課題——私立中高校教員のキャリア形成を校長はどう考えているか」
- (2) 佐藤雄一郎（法政大学大学院政策創造研究科研究生）「人材育成施策としてのOJT・Off-JT・自己啓発が従業員のキャリア形成に及ぼす影響について」
- (3) 大矢 奈美（青森公立大学経営経済学部准教授）「文系大学による人的資本形成効果の分

○C グループ

〈座 長〉

中村 圭介（東京大学社会科学研究所教授）

〈報告者〉

- (1) 三吉 勉（同志社大学大学院社会学研究科博士後期課程）「現代における個別化された労使関係の研究方法について」
- (2) 藤波 美帆（高齢・障害・求職者雇用支援機構常勤嘱託調査研究員）「嘱託社員（継続雇用者）の活用方針と人事管理——60歳代前半層の賃金管理」
- (3) 田中 恵子（法政大学大学院経営学研究科研究生）「母子家庭の母の就業支援——その効果的な職業訓練のあり方」

パネルディスカッション「労使紛争の現状と政策課題」

〈司 会〉

中村 圭介（東京大学社会科学研究所教授）

〈パネリスト〉

- (1) 中窪 裕也（一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授）「労使紛争の現状と政策課題——法律学の立場から」
- (2) 南雲 智映（連合総合生活開発研究所研究員）「「声」をあげる企業別組合」
- (3) 呉 学 殊（労働政策研究・研修機構労使関係部門主任研究員）「労使紛争の現状と政策課題——合同労組の労使紛争解決を中心に」
- (4) 高橋 陽子（東京大学社会科学研究所特任研究員）「労働審判の解決内容と企業への影響」

* 論文タイトル・所属は会議開催時のもの

2012 年労働政策研究会議準備委員会

準備委員長	中村 圭介	東京大学社会科学研究所教授
準備委員	呉 学 殊	労働政策研究・研修機構主任研究員
準備委員	野田 知彦	大阪府立大学経済学部教授
準備委員	山川 隆一	慶應義塾大学法科大学院教授
アドバイザー	仁田 道夫	日本労使関係研究協会会長